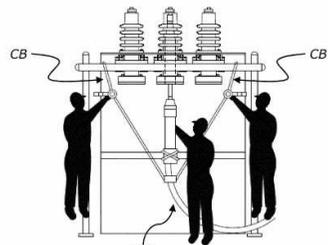


名称	重いケーブルも、軽やかに。ケーブル接続作業の安全効率を一台で実現 (特願2023-033343 ケーブル送出装置及び送出方法)	許諾 条件	通常実施権 譲渡不可
発明の目的	従来技術(例えば、チェーンブロックを使用する方法)と比べて少人数かつスキルレスな作業で所定の方向に電力ケーブルを送り出すことができるケーブル送出装置を提供すること。		
導入のメリット	<ul style="list-style-type: none"> ①回転体でケーブルを掴みつつ、回転駆動装置でケーブルを送り出すことができるため少ない作業員で安定して所定方向にケーブルを送り出すことができる。 ②装置に設けたスライド駆動手段によりケーブルの太さに応じて回転体間の距離を調整できるため、ケーブルの径に関わらず安定した状態で送り出すことができる。 ③装置は躯体とは別の支持板に取り付けられ、一体となった装置と支持板を躯体上に配置してクランプなど固定する。躯体への加工をすることなく本装置を使用することができる。 		
アピール内容	従来のチェーンブロック作業を不要にし、少人数で安全かつ正確にケーブルを送り出せる革新的な装置です。複数の回転体でケーブルをしっかり保持し、所定の方向へ安定して押し出します。多様なケーブル径に対応し、躯体加工も不要。現場の負担を大幅に軽減し、作業効率と安全性を両立します。		

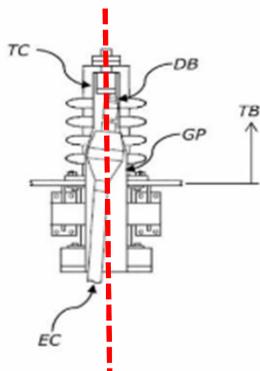
◆従来のケーブル取付作業は・・・

①作業員が多く必要



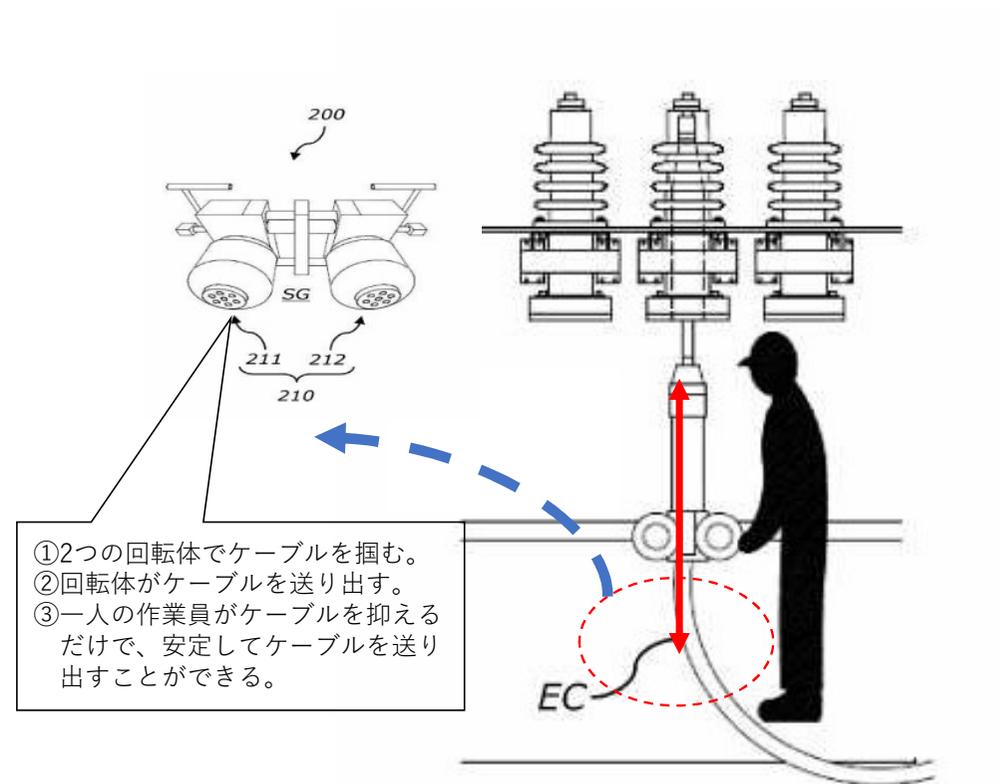
チェーンブロック操作者2名
+
ケーブルを手元で押さえる作業員1名

②ケーブルが曲がって接続される場合もある。



ケーブルが所定方向からズレて送り出される
↓
正しく接続できない
(故障・事故の原因)
↓
作業員の技量が必要

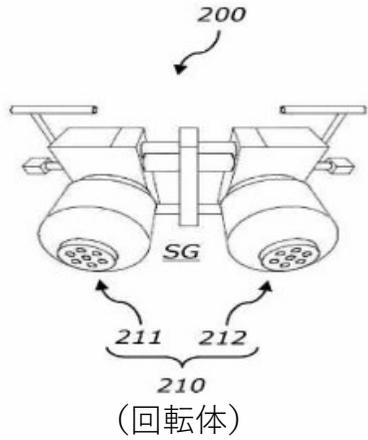
◆本装置を使用すると・・・



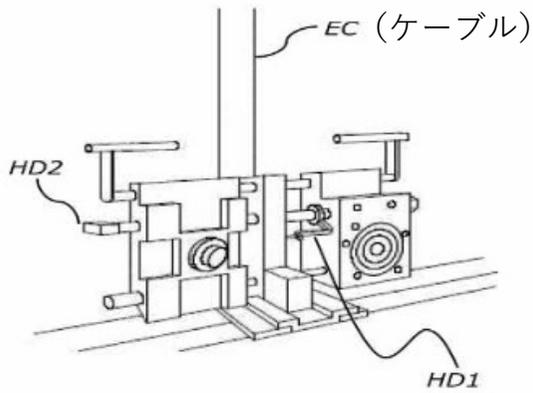
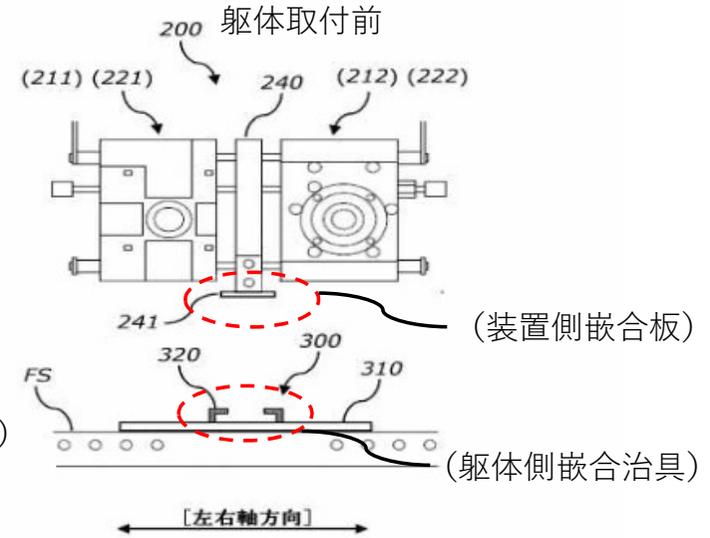
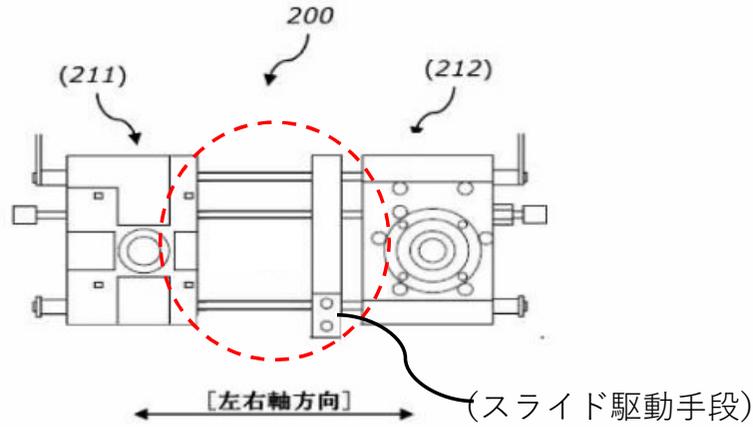
①2つの回転体でケーブルを掴む。
②回転体がケーブルを送り出す。
③一人の作業員がケーブルを抑えるだけで、安定してケーブルを送り出すことができる。

少ない作業員で安定して所定方向にケーブルを送り出すことができます。しかも、安全に。

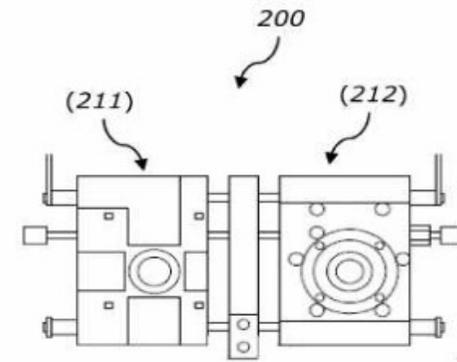
装置背面図（ケーブル挟み込み側）



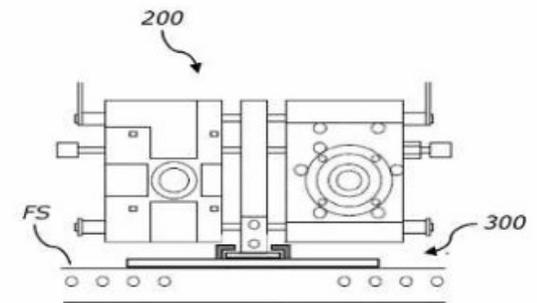
スライド駆動手段を広げた場合



装置正面



スライド駆動手段を狭めた場合



躯体取付後